

問：**国民の命を守るがん対策推進を** がん検診無料クーポン事業の取り組み成果はどうか。又、子宮頸がんワクチンの公費助成の取り組みの考えはどうか伺う。

答：<鈴木市民福祉部長> がん検診の受診促進と健康意識の普及啓発を図り、健康の保持増進につなげる事業で、子宮頸がん検診は、対象者 2,622 人で受診者が 577 人の受診率 22%、要精検 6 人、うち子宮頸がん 1 人。乳がん検診は、対象者が 2,882 人で受診者が 543 人の受診率 18.8%、要精検 50 人、乳がん 4 人、乳腺症 3 人等であった。子宮頸がんワクチンの公費助成は全国的な広がりや県内の情勢などを見ながら検討する。予防ワクチンのお知らせとともに、検診の勧奨も積極的に行っていきたい。

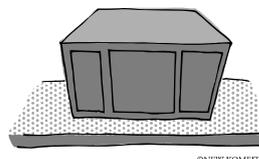
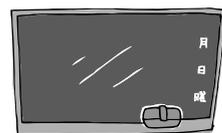


問：**児童虐待への適切な対応を** 児童虐待の現状と実態、支援対策も伺う。

答：<鈴木市民福祉部長> 平成 19 年が 68 件、20 年が 73 件、21 年が 66 件で、件数は減っているが、継続して虐待の心配のあるケースがふえている。要保護児童対策の調整機関として家庭児童相談室を指定し、すべてのケースのデータ管理と支援の方針検討の中核を担っている。今後も、各関係機関は、子供の命を守るという共通目標のもとに、必要な、また、適切な支援を続けていく。

問：**マルチメディア・デイジーの活用を** 発達障がいやその他の文字を認識することに困難のある児童・生徒の学習支援としての活用はどうか伺う。

答：<廣中教育長> デイジー教科書については、この5月に文科省より、児童生徒本人のみに限定していた従来の方針から、指導する教員への配布や障害の状況によって在籍学年よりも下のデイジー教科書が必要な場合についても配布を可能とする旨の事務連絡があった。今後、広く活用を呼びかけていきたい。



市民相談・生活相談はお気軽に！

※法律相談・よろず相談・市政に対するご意見等



連絡先：松本まさなり
 市役所：0533-66-1169
 自宅：0533-57-6999
 携帯：090-2921-0998



NEW KOMEITO

公明党